

第3回鎌倉市図書館協議会議事日程

令和7年11月18日（火） 午後2時～

鎌倉市中央図書館3階多目的室

1 議 事

(1) 報告事項

- ア 定例市議会における図書館関連質問について
- イ 第5次鎌倉市図書館サービス計画の策定に係るアンケートについて
- ウ 第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画に係るアクションプランについて

(2) 協議事項

- ア 図書館の施設整備について
- イ これからの図書館のあり方について

(3) 答申

第5次鎌倉市図書館サービス計画について

(4) その他

- ア 深沢図書館の臨時休館について

2 資 料

- (1) 定例市議会における図書館関連質問について
- (2) 第5次鎌倉市図書館サービス計画の策定に係るアンケート結果
(「こんな図書館があったらいいな」あなたの声を聞かせてください。)
- (3) 第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画 アクションプラン (案)
- (4-1) 令和7年(2025年)鎌倉市中央図書館視察先一覧
- (4-2) 同 写真
- (4-3) 宮城県富谷市図書館工事見学(記録)
- (5) 第5次鎌倉市図書館サービス計画の策定について

報告事項ア 定例市議会における図書館関連質問について

- 1 鎌倉市議会9月定例会（令和6年9月3日から9月30日まで）
 - (1) 一般質問（9月6日）

図書館に関する質問はありませんでした。
 - (2) 教育福祉常任委員会（9月10日）

図書館に関する報告案件及び質問はありませんでした。
 - (3) 決算等審査特別委員会（9月24日）

上野学議員 図書館に司書資格をお持ちの方は何名配置されているか。

図書館長 令和6年度の時点で、正規職員20名、会計年度任用職員39名で館の運営を担っている。その中で、正規では技術職で採用された職員、事務職で異動してきた職員もあり、人材は混在している。正規17名程度は資格をもっており、残りの3名は事務職の経理担当などで資格を持っていない。事務で異動してきた職員には自分で資格を取った者もいると聞いている。

上野学議員 正規職員20名のうち17名は司書資格がある。では、会計年度任用職員は、基本的に資格はもっていないのか。

図書館長 会計年度は事務を行っている者、近代史資料室を担当しているものが複数名いるが、それ以外の図書館の業務を担う会計年度については司書資格があることを条件として採用を実施している。

上野学議員 図書館にしっかり司書資格のある人がいるということは資源として重要なものと思っている。図書館は本を読むということもあるが、子どもの居場所としての図書館ということも図書館の計画の中でもいわれているかなと思う。「子供たちの意見も取り入れた居場所としての図書館を作ります」と子ども読書活動推進計画などでもうたわれているが、不登校が増えている中で、フリースクールとか多様な学びの場というものが整理されていると思うが、図書館として不登校の子が自分で学びたいなと思った時の居場所作りについては何かしているか。

図書館長 様々な用途で使われる図書館であるが、現在、子どもの居場所としても選択肢として捉えられている。親子で来られたり、小学校のお子さんが来られたり、にぎやかに過ごされているが、施設が古いことから静かに本を読みたいという方と分けることが難しい状況もある。

不登校に限らずお子さんが来られた時には、時間帯に関係なく、挨拶はするが、今日はどうしたのか、なにかあったのかという声掛けはしないようにしている。お子さんが自由に過ごせる場所の提供に努めているところである。誰が利用しているとか、こういう子がいた、ということは図書館の利用の秘密にもつながるので、そこは厳格に守りながら、お子さんたちの対応を図っている。

吉岡和江議員 鎌倉のいろいろな資産をもっと充実していくという意味で、市史編纂事業だが、近代資料室が図書館の中にあるが体制はどのようなかと思いがらいる。例えば歴史がある古い家を取り壊されたりすると、そこにはいろいろな資料がある。それをいただいて整理をするといった鎌倉の歴史をどこでやっているのか。司書なら正規職員17人、会計年度も資格があるといっているが、専門職などの体制はどのようなか。どういうふうに継続して未来につなげていくのか。

図書館長 近代史資料室については、図書館の司書職の2名が兼務で在籍し、研究員などの会計年度任用職員で運営している。実務に関しては、その他ボランティアの方などいろいろな方のご協力を得ながら、手にした資料を公開につなげていく、様々な古文書の解読などを行っている。先ほどのおはなしにありました、何もしなければ散逸していくようなものについては、図書館では古い写真があればぜひご寄贈を、と声掛けをしている。また市役所の中の部署とも連携し、例えば古い建物が壊される、といった話があれば訪問させていただき、必要ならもって行っていいよというものをもらって来たり、大船軒の社屋が壊されたときも情報を得ましたので、古い図面などをいただいて来たりしている。そうしたものをデジタルのアーカイブ、ホームページなどでいろいろな方に見ていただけるような工夫を行い、先につなげている。

吉岡和江議員 非常に大事な仕事だと思う。図書館とともにだちの方たちが「鎌倉の市史は50年史まではあるが、そのあとが作られていない。」ということで、100年市としても、あと10年後になるが、大変な作業だと思う。その辺の体制、いただいた資料を整理して鎌倉の歴史を後世に伝えていくという意味では相当大きな事業だと思うが、その辺の体制や今後の課題はなにか。

図書館長 市史編纂については平成24年に図書館で補助執行を受け、事務局として担っている。その多くについては、歴史的公文書の選別などの

市編纂事業に付随する業務、主に平成期についての年表の作成など、今のメンバーでできることを進めている状態である。鎌倉市としても、市史編纂は大変重要なものであると考えており、まだ市史編纂委員会は休眠中であるが、その再開に向けての庁内組織をどのように進めていくのかといったところを近隣市の状況も得ながら準備を進めているところである。

吉岡和江議員 50年史しかできていなくて、その後作られていないということなので、100年に向けてのその体制と、その辺はどうするのか、専門職の必要性なのか、司書も最近何十年ぶりに採用されたということなので、その体制はもうちょっときちっとされた方がいいと思う。

「こんな図書館あったらいいな」あなたの声を聞かせてください。

1. 目的

鎌倉市図書館の運営やサービス状況、今後予定されている新しい図書館および電子図書等のニーズを把握し、第5次図書館サービス計画策定の検討材料とする。

2. 実施期間

令和6年（2024年）11月～12月15日（日）

3. 調査対象

来館者アンケート）鎌倉市図書館（中央、腰越、深沢、大船、玉縄）の来館利用者

館内でアンケート用紙を配付し、館内・返却ポストで回収。または、図書館ホームページ・LINE でアンケート実施をお知らせし、e-kanagawa 電子申請からweb で回答。

郵送アンケート）鎌倉市民 2,000 名を無作為抽出し、郵送にてアンケートを発送。アンケート回答を返送するか、アンケート用紙に記載の e-kanagawa 電子申請のリンクからweb で回答。

来館者アンケート・郵送アンケートどちらも「通常版」と「やさしい日本語版」を作成し、回答者に選択して回答してもらった。

4. アンケート回収数

合計：1,181 枚（来館者アンケート：538 枚、郵送アンケート：643 枚）

来館	館内	Web 回答	回収数
中央	74	36	110
腰越	75	31	106
深沢	4	2	6
大船	69	20	89
玉縄	73	24	97
Web/LINE	0	130	130
総計	295	243	538

郵送	回収数
郵送	565
web	78
総計	643

回答者年齢

来館	1)18歳未満	2)18～29歳	3)30～59歳	4)60歳～	無回答	総計
紙回答	14	8	130	130	13	295
web 回答	22	11	122	77	11	243
総計	36	19	252	207	24	538

6.7% 3.5% 46.8% 38.5% 4.5%

郵送	1)18歳未満	2)18～29歳	3)30～59歳	4)60歳～	無回答	総計
紙回答	28	26	199	289	21	563
web 回答	3	14	51	12	0	80
総計	31	40	250	301	21	643

4.8% 6.2% 38.9% 46.8% 3.3%

5. アンケート集計結果

1-1 よく利用する図書館ひとつに○をつけてください。

	来館	郵送	計
中央	173	221	394
腰越	133	74	207
深沢	44	66	110
大船	134	119	253
玉縄	157	58	215
その他	5	9	14
計	646	547	1,193

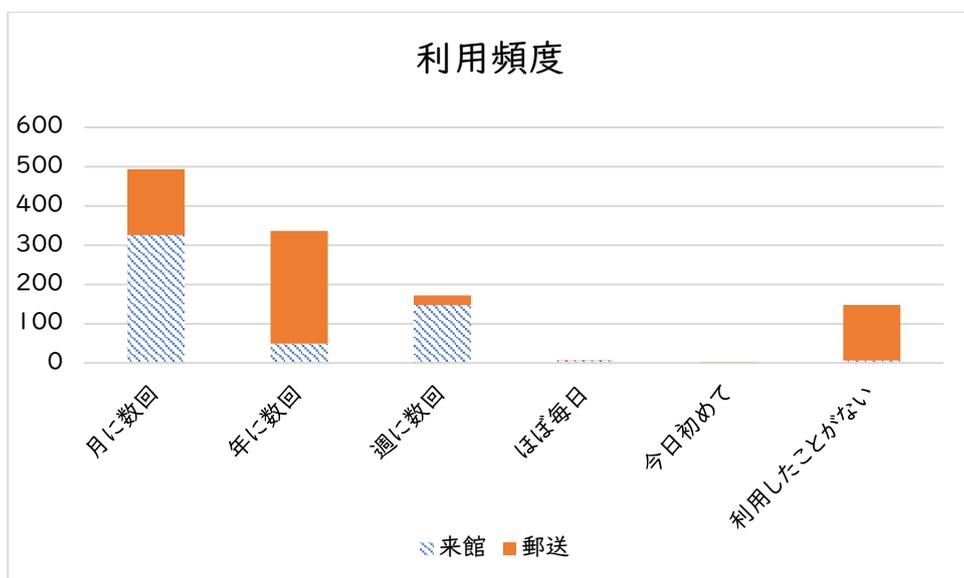
来館アンケートの紙回答で、
複数館選択したものがあったため、
来館者アンケートの回答総数と、
よく利用する図書館の総計が不一致です。

その他図書館

逗子市(3)、横浜市栄、藤沢市(各 2)、葉山町、横須賀市北図書館、藤沢市南市民、都内大学図書館、海老名市、逗子市立図書館小坪分館、未記入(各 1)

1-2 利用頻度

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	今日初めて	利用したことがない
来館	7	148	326	49	0	6
郵送	1	24	167	287	3	142
合計	8	172	493	336	3	148

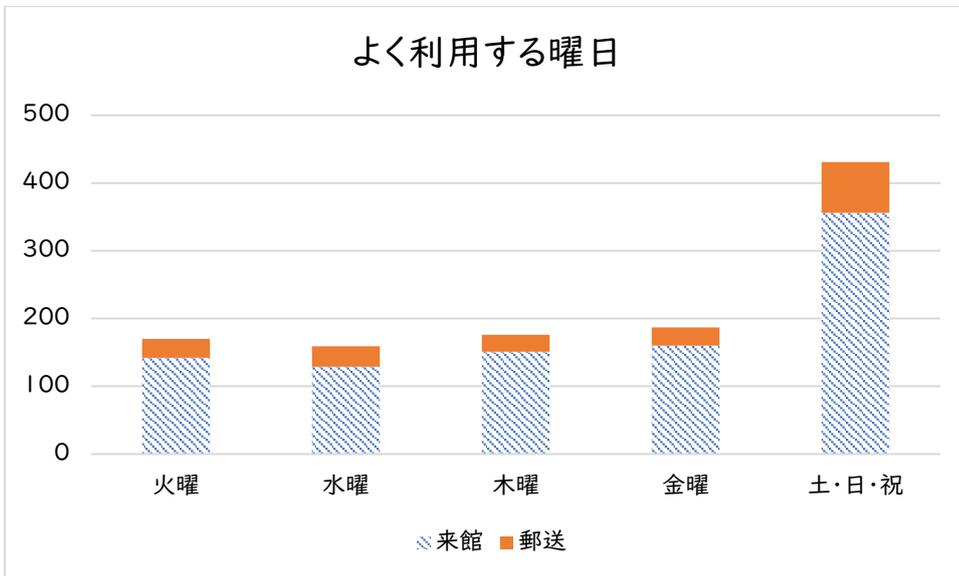


利用しない理由

必要がない・用事がない、存在・場所を知らなかった、バリアフリーの観点から行けない、多忙等時間がない、本を読まない、本は購入する、他の図書館を利用、高齢化、引っ越したばかり、蔵書が古い・少ない、狭い、蔵書が分かっていない、コロナで停止 など

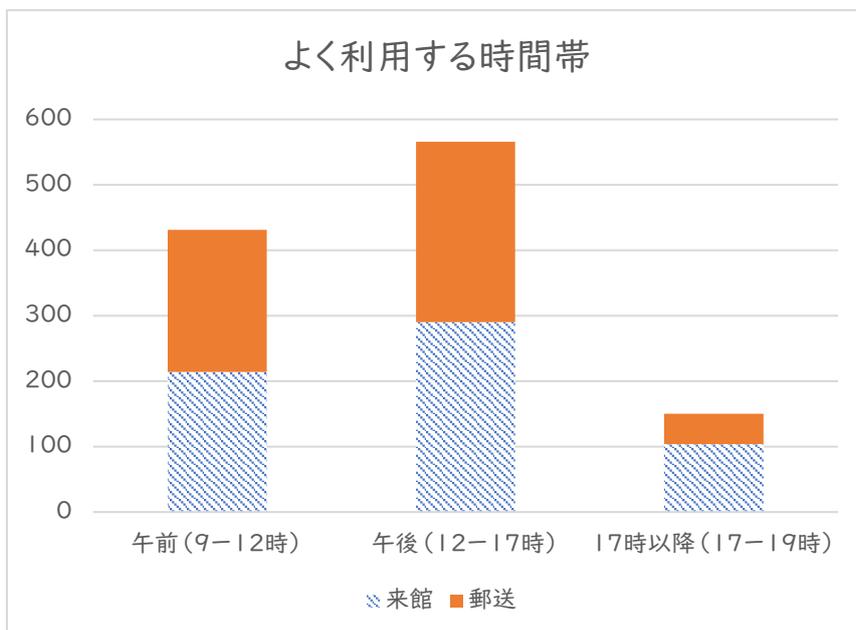
1-3 よく利用する曜日

	火曜	水曜	木曜	金曜	土・日・祝
来館	142	129	151	160	356
郵送	28	30	25	27	75
合計	170	159	176	187	431



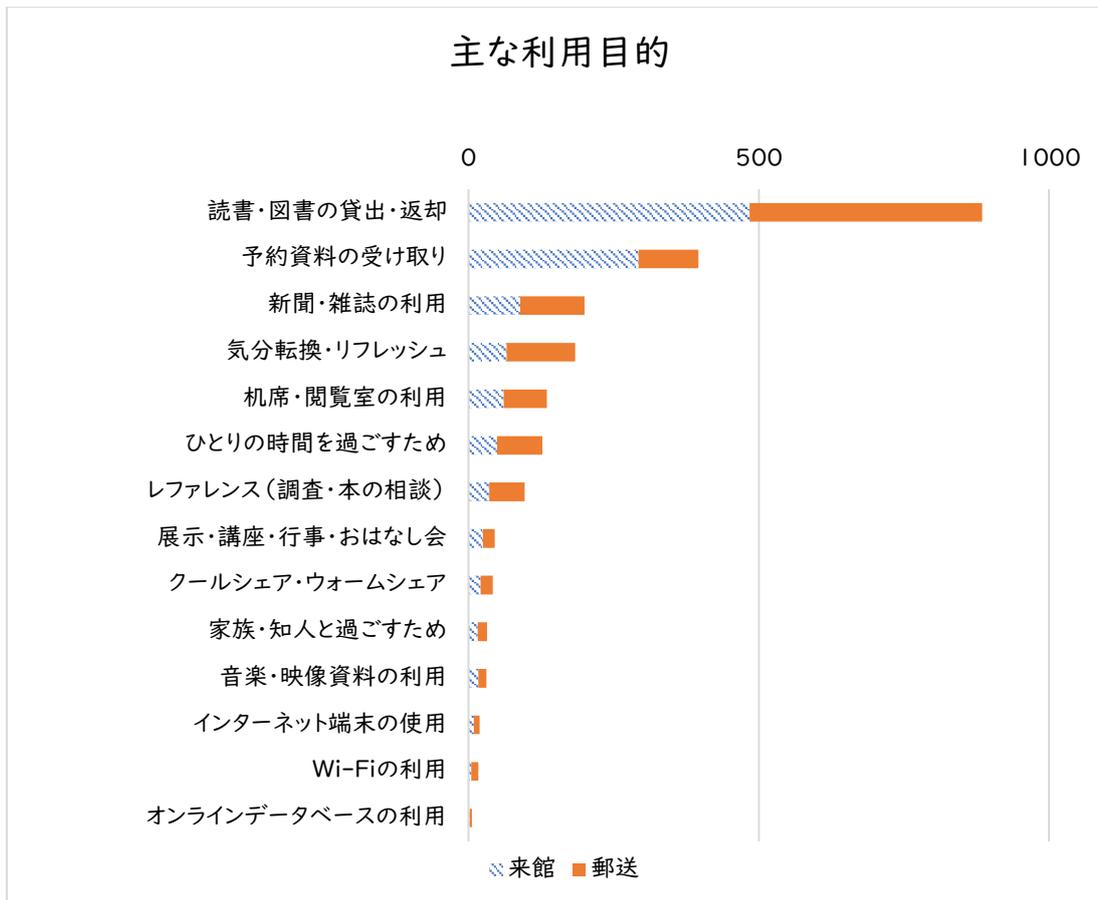
1-4 よく利用する時間帯

	午前 (9-12時)	午後 (12-17時)	17時以降 (17-19時)
来館	214	290	104
郵送	217	276	46
合計	431	566	150



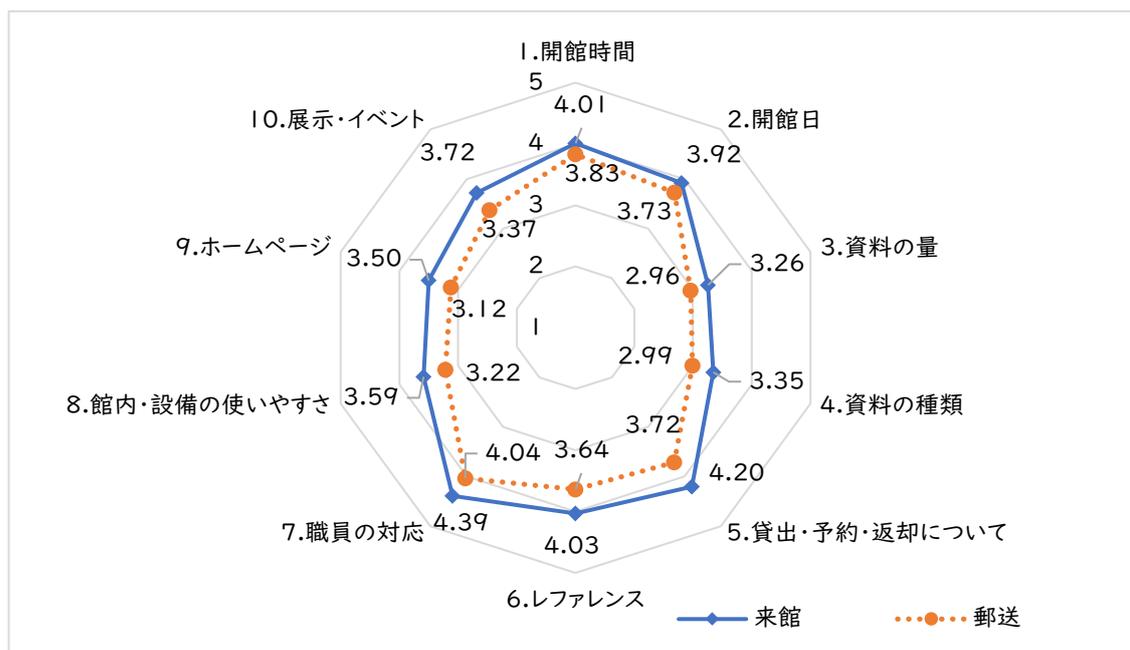
2 図書館の主な来館目的は何ですか。(複数回答可)

	読書・図書の貸出・返却	予約資料の受け取り	新聞・雑誌の利用	音楽・映像資料の利用	レファレンス(調査・本の相談)	インターネット端末の使用	オンラインデータベースの利用
来館	484	293	89	17	36	9	2
郵送	401	103	111	14	61	10	4
合計	885	396	200	31	97	19	6
	展示・講座・行事・おはなし会	机席・閲覧室の利用	Wi-Fiの利用	ひとりの時間を過ごすため	家族・知人と過ごすため	クールシェア・ウォームシェア	気分転換・リフレッシュ
来館	25	61	5	49	16	21	66
郵送	20	74	12	78	16	21	118
合計	45	135	17	127	32	42	184



3 よく利用する図書館の資料やサービスについて、満足度はいかがですか。
(上段:来館/下段:郵送)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答	計	評点
図書館の開館時間	250	100	120	37	17	10	5	538	4.01
	178	93	164	34	9	11	154	643	3.83
図書館が開館日 (月曜休館)	242	84	132	35	27	4	14	538	3.92
	242	84	132	35	27	4	119	643	3.73
図書館の資料の量	106	108	135	101	46	17	25	538	3.26
	54	69	165	91	54	21	189	643	2.96
図書館の資料の種類	108	102	174	82	32	21	20	538	3.35
	44	71	176	82	42	38	190	643	2.99
貸出・予約・返却	265	115	120	11	6	7	14	538	4.20
	127	89	195	17	5	28	182	643	3.72
レファレンス (調べものの相談)	136	82	112	7	0	169	32	538	4.03
	77	70	172	8	3	120	193	643	3.64
図書館職員の対応	310	108	84	8	3	10	15	538	4.39
	182	114	146	6	3	15	177	643	4.04
館内・設備の 使いやすさ	163	112	147	61	36	4	15	538	3.59
	82	88	169	79	36	7	182	643	3.22
図書館ホームページ	117	88	164	60	19	57	33	538	3.50
	36	47	177	46	16	116	205	643	3.12
図書館のイベント・ 展示	76	56	111	14	3	234	44	538	3.72
	33	42	136	18	2	211	201	643	3.37



※満足度評点について…アンケート回答の「満足」を5点、「やや満足」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、合計評点数を回答者数(無回答を除く)で除した値である。5点に近いほど満足度が高く、1点に近いほど満足度が低いことを表している。

第4次サービス計画策定時(2022年)のアンケートとの満足度評点比較

	2024年アンケート		2022年アンケート	
	来館	郵送	来館	郵送
開館時間	4.01	3.83	4.02	3.60
開館日	3.92	3.73	3.90	3.82
資料の量	3.26	2.96	3.16	2.87
資料の種類	3.35	2.99	3.29	2.95
レファレンス	4.03	3.64	4.02	3.35
職員の対応	4.39	4.04	4.15	3.83
展示・イベント	3.72	3.37	3.52	3.21
貸出・予約・返却について	4.20	3.72	質問項目なし	
館内・設備の使いやすさ	3.59	3.22		
ホームページ	3.50	3.12		

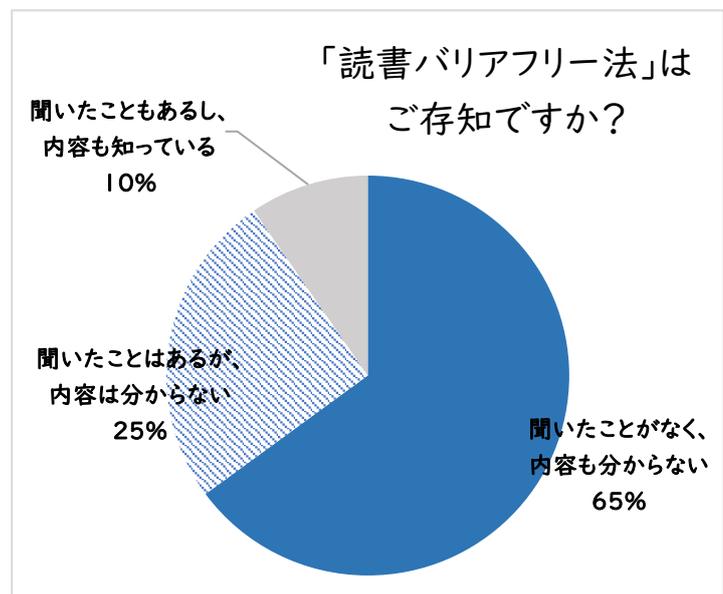
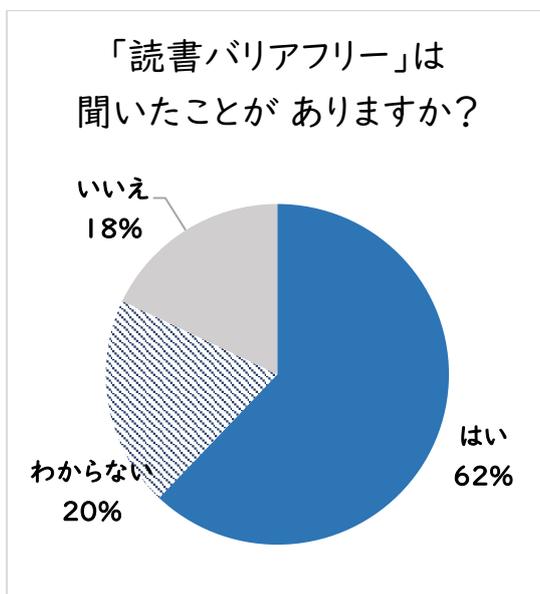
4 「読書バリアフリー」についてお尋ねします。

4-1 「読書バリアフリー」は 聞いたことがありますか？(やさしい日本語版)

	はい	わからない	いいえ
来館	63	18	28
郵送	86	30	15
総計	149	48	43

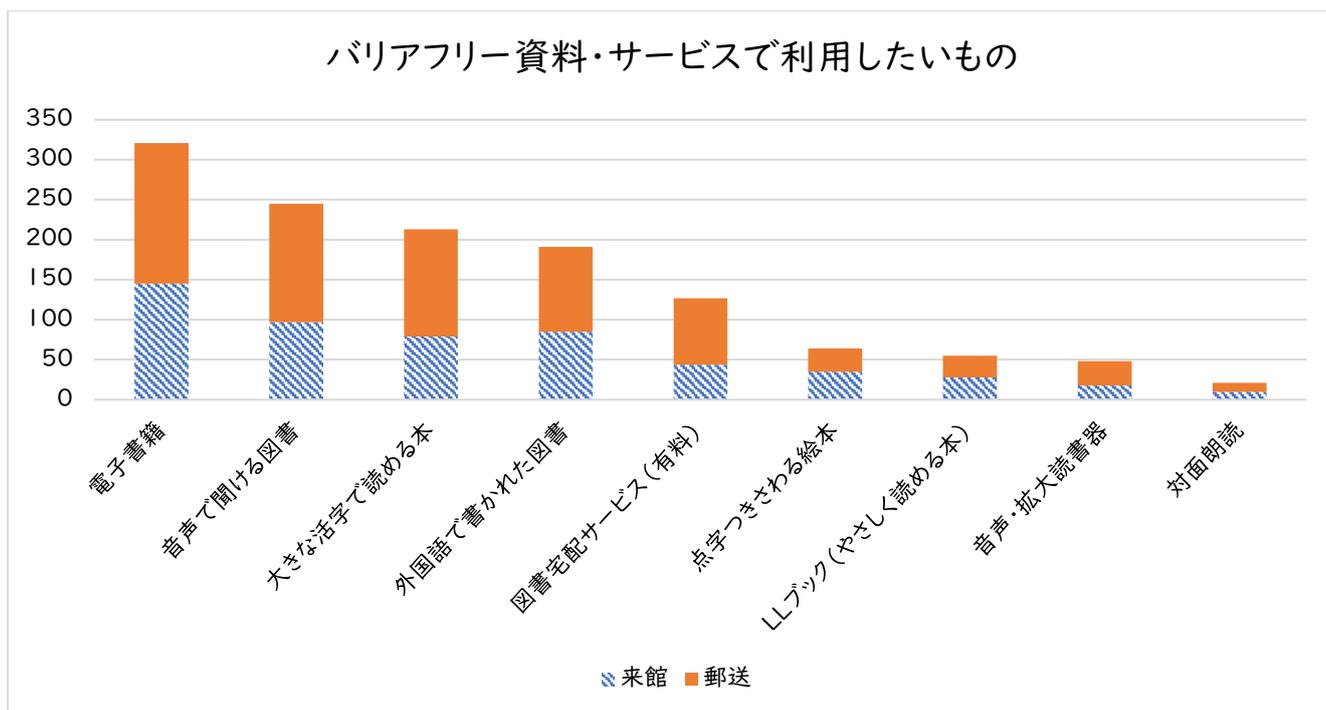
4-1 「読書バリアフリー法」はご存知ですか？(通常版)

	聞いたことがなく、 内容も分からない	聞いたことはあるが、 内容は分からない	聞いたこともあるし、 内容も知っている
来館	244	105	51
郵送	333	122	34
総計	577	227	85



4-2 バリアフリー資料・サービスで利用したいものは、どれですか？(複数回答可)

	電子書籍	音声で聞ける図書	大きな活字で読める本
来館	145	97	79
郵送	176	148	134
総計	321	245	213
	27.2%	20.7%	18.0%
	外国語で書かれた図書	図書宅配サービス(有料)	点字つきさわる絵本
来館	85	44	35
郵送	106	83	29
総計	191	127	64
	16.2%	10.8%	5.4%
	LLブック(やさしく読める本)	音声・拡大読書器	対面朗読
来館	28	18	10
郵送	27	30	11
総計	55	48	21
	4.7%	4.1%	1.8%



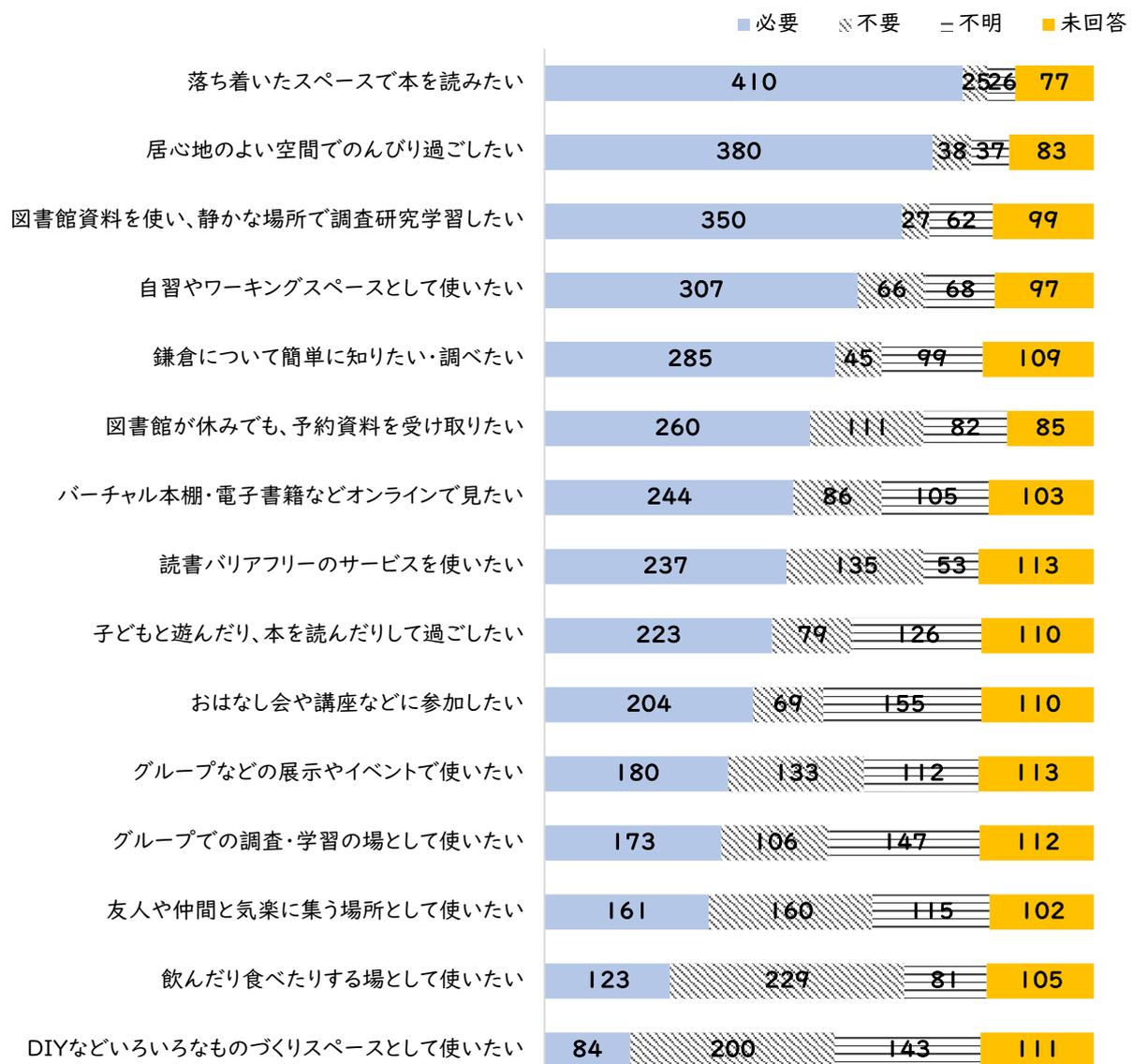
5 新しい図書館ができれば、やってみたいことは何ですか？(複数回答可)

		必要	不要	わからない	未回答	回答計	必要	不要	わからない	未回答
1.落ち着いたスペースで本を読みたい	来館	410	25	26	77	538	76.2%	4.6%	4.8%	14.3%
	郵送	526	16	20	81	643	81.8%	2.5%	3.1%	12.6%

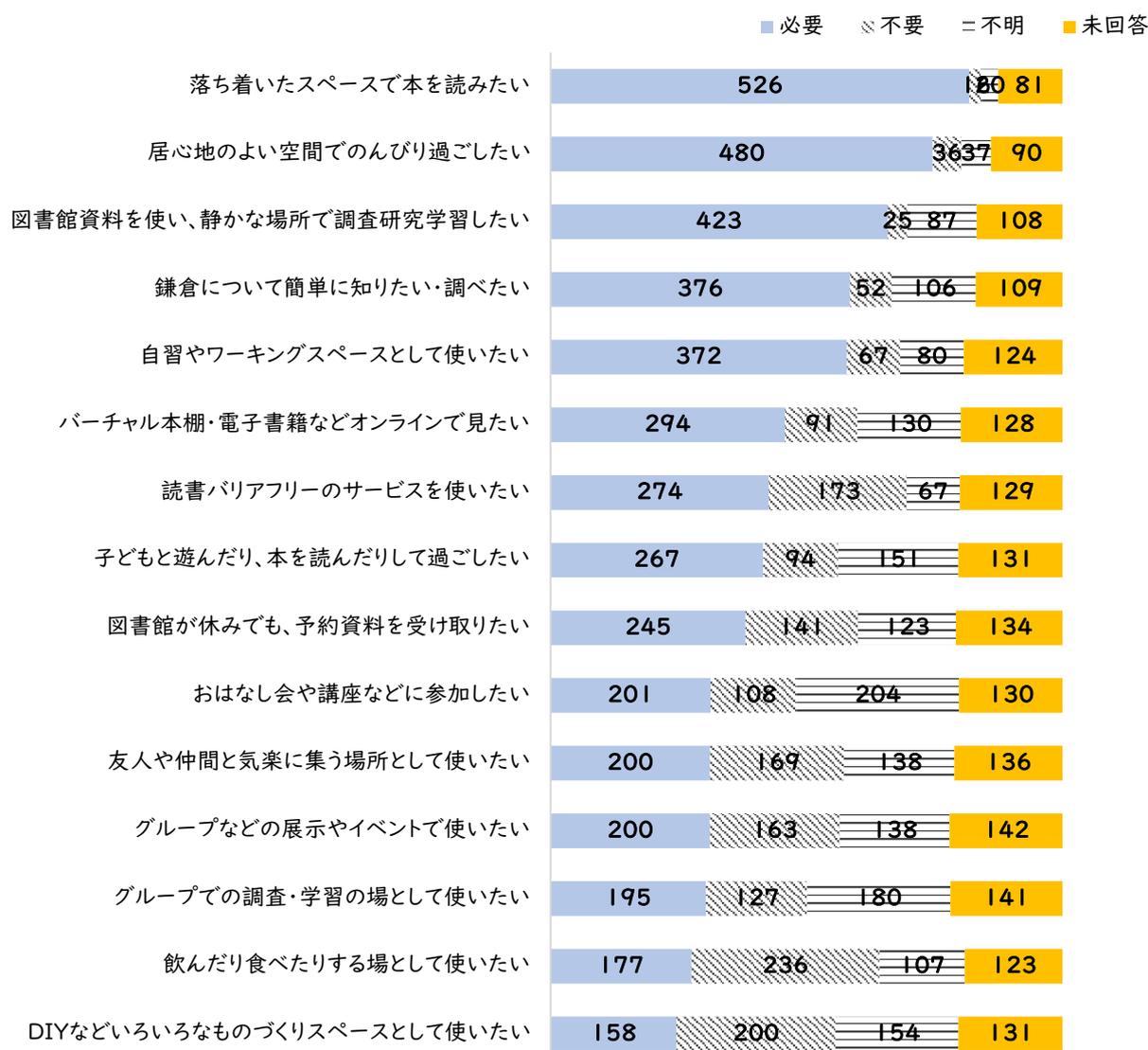
2.図書館資料を使い、静かな場所で調査研究学習したい	来館	350	27	62	99	538	65.1%	5.0%	11.5%	18.4%
	郵送	423	25	87	108	643	65.8%	3.9%	13.5%	16.8%
3.子どもと遊んだり、本を読んだりして過ごしたい	来館	223	79	126	110	538	41.4%	14.7%	23.4%	20.4%
	郵送	267	94	151	131	643	41.5%	14.6%	23.5%	20.4%
4.鎌倉について簡単に知りたい・調べたい	来館	285	45	99	109	538	53.0%	8.4%	18.4%	20.3%
	郵送	376	52	106	109	643	58.5%	8.1%	16.5%	17.0%
5.グループでの調査・学習の場として使いたい	来館	173	106	147	112	538	32.2%	19.7%	27.3%	20.8%
	郵送	195	127	180	141	643	30.3%	19.8%	28.0%	21.9%
6.バーチャル本棚・電子書籍などオンラインで見たい	来館	244	86	105	103	538	45.4%	16.0%	19.5%	19.1%
	郵送	294	91	130	128	643	45.7%	14.2%	20.2%	19.9%
7.図書館が休みでも、予約資料を受け取りたい	来館	260	111	82	85	538	48.3%	20.6%	15.2%	15.8%
	郵送	245	141	123	134	643	38.1%	21.9%	19.1%	20.8%
8.読書バリアフリーのサービスを使いたい	来館	237	135	53	113	538	44.1%	25.1%	9.9%	21.0%
	郵送	274	173	67	129	643	42.6%	26.9%	10.4%	20.1%
9.居心地のよい空間でのんびり過ごしたい	来館	380	38	37	83	538	70.6%	7.1%	6.9%	15.4%
	郵送	480	36	37	90	643	74.7%	5.6%	5.8%	14.0%
10.グループなどの展示やイベントで使いたい	来館	180	133	112	113	538	33.5%	24.7%	20.8%	21.0%
	郵送	200	163	138	142	643	31.1%	25.3%	21.5%	22.1%
11.おはなし会や講座などに参加したい	来館	204	69	155	110	538	37.9%	12.8%	28.8%	20.4%
	郵送	201	108	204	130	643	31.3%	16.8%	31.7%	20.2%
12.自習やワーキングスペースとして使いたい	来館	307	66	68	97	538	57.1%	12.3%	12.6%	18.0%
	郵送	372	67	80	124	643	57.9%	10.4%	12.4%	19.3%
	来館	161	160	115	102	538	29.9%	29.7%	21.4%	19.0%

13.友人や仲間と気楽に集う場所として使いたい	郵送	200	169	138	136	643	31.1%	26.3%	21.5%	21.2%
14.飲んだり食べたりする場として使いたい	来館	123	229	81	105	538	22.9%	42.6%	15.1%	19.5%
	郵送	177	236	107	123	643	27.5%	36.7%	16.6%	19.1%
15.DIYなどいろいろなものづくりスペースとして使いたい	来館	84	200	143	111	538	15.6%	37.2%	26.6%	20.6%
	郵送	158	200	154	131	643	24.6%	31.1%	24.0%	20.4%

新しい図書館ができれば、やってみたいことは何ですか？(来館)



新しい図書館ができれば、やってみたいことは何ですか？(郵送)



その他にアイデアや、やってみたいことがあればお書きください。(自由記述欄)

全回答数…308件 以下、一部抜粋

【施設・設備…161件】

○スペース・ゾーニングについて:67件

- ・子ども達が本を読めるスペースをもっと増やして欲しい。
- ・自習やワーキングスペースの充実を求めます。
- ・小さな子どもをもつ親が気軽に来れるよう、子どものスペースは分けたほうが良いのではないかな。
- ・カフェの併設
- ・(設問の)12~15 について、図書館の別のフロア(又は防音の別室を作って)利用するのであればあるとよい。
- ・学校に行きづらい、または行けない子どもたちが、そっと見守られながら、安心して本をゆっくり広げられる静かで落ち着いたスペースがあると思います。
- ・図書館として独立するのではなく、交流スペースなどがある中で図書館も併設されているオープンな空間があると利用したくなる。
- ・図書館は静かなイメージなので少し入りにくいイメージがあります。歓談エリアと沈黙エリアでフロア分けしても良いのかなと思います。カフェのようなスペースで本が読めるのも良いと思います。

- ・図書館はあくまで図書等を静かに調べ見るところ。食事や声がうるさいことはぜひ避けて頂きたい。
- ・子どもの図書コーナーは声出し OK、大人のコーナーは静かに、などわかれているとよい。
- ・同じ図書館の中でも、場所を区切って 利用目的をわかりやすいようにしてもらえたら、違う目的で来館しても、みんなが集える場所になるのではないかと…
- ・気軽に使える勉強室のようなスペースをぜひ作ってほしいです。子ども達が友達同士で学べるスペースが無いので。

○イス、トイレ、駐車場等の設備について…40 件

- ・施設の古さ、狭さ ・トイレ、机やイスの古さ、少なさ ・じゅうたんコーナーの衛生面 ・駐車場の充実
- ・トイレ、おむつ替えコーナー ・返却ボックスの増加 ・フレンドリー鎌倉に分館を ・ソファやベッド
- ・既存館の利便性の向上 など

【サービス…75 件】

○開館日・時間…16 件

- ・仕事帰りでも図書館を使いたいため、夜遅い時間帯も営業してほしい
- ・現在、開館時間の延長をしているのは木曜日及び金曜日だと思いましたが、連続する曜日ではなく、中日の水曜日も対象としてご検討いただけるとありがたいです。
- ・月曜日開館を希望します。全ての意見を聞くのは不可能だとは思いますが、月曜日開館で救われる市民は閉館時間の延長よりも多いはずで。再考を望みます。
- ・正月休みにゆっくり読書をしたいので、年末は30日くらいまで開館してほしい。
- ・また学校や仕事は、特に月曜日に行きたくなくなるので、月曜日以外のお休みだと、嬉しい方もいらっしゃるのかもしれない。

○その他

- ・図書館ホームページについて ・本の除菌サービス ・読書通帳 ・Wi-Fi ・予約制限 ・本の配送サービス
- ・展示 ・図書館カードのアプリ化 ・受取窓口 など

【蔵書…42 件】

- ・もう少し雑誌や人気の図書を早く入庫してほしい=鎌倉の人々が自然に集う場所になると思う
- ・オーディブル CD の拡充をお願いします。
- ・CD について少なすぎだと思います。いつも古いもので変わりませんが、追加はしないのですか？
- ・とにかく蔵書が少ないので新刊などもっと購入してほしい
- ・子どもたちがたくさんの本に触れられる環境、豊富な資料は常に更新されるため新しい書籍を素早く図書館に置いてもらえるといい。
- ・新聞を読みたい。
- ・図書館なので、本に関わる点を重視したほうが良い図書館になると思います。
- ・まず、鎌倉の図書館（特に中央図書館）に行こうという気持ちになれません。欲しい本（読みたい本）は、基本全て購入しているため。あって欲しいのは高額な本、出版部数の少ない本です。
- ・蔵書を可能なかぎり多く、よいかたちで保存して資料を後世に伝えてほしいです。改ざんできない本（物体）であることが大切です。電子書籍は、消されたり、変えられたりしても、紙に書かれたものは、ずっと残ります。大切な記録です。よろしく願いいたします。
- ・他地域の資料（例えば風土記）三浦半島関係等
- ・利用される頻度は少なくとも、地域の歴史や行政に関する資料は大切にしてほしい。民間委託して、利用頻度の高い本だけに蔵書をしぼるようなことはしないでほしい。
- ・新刊の本を借りたくても、予約しないと全く借りれないし、予約しても一年以上待ったりする。予約して家で読むのも有りだけど、せめて図書館に行けばその場で読めるものも増やしてほしい。

- ・利用される頻度は少なくとも、地域の歴史や行政に関する資料は大切にしてほしい。
- ・蔵書が古すぎる。新書をもう少し広く在庫してほしい。ひどいのは待ち順 120 人目ということも。何とかしてほしい。

【イベント…48 件】

- ・ゲーム大会 ・DIY ・外国語の異文化交流 ・マルシェ ・朗読会 ・ビブリオバトル
- ・ハローワークのような仕事さがしコラボ ・企業とのコラボ企画 ・職場体験
- ・外国人の人に対する日本語教室や学校配布物の読み説き ・お祭り ・音楽イベント
- ・パソコンやスマホなどの電子機器が苦手な方に学べる場
- ・大学生などに勉強や、進路について教わる機会
- ・地域の様々な方が集まって、情報共有できる場所
- ・地元の作家の方の朗読会、講演会や茶話会
- ・鎌倉にちなんだワークショップ・鎌倉に関する歴史・民俗・地理の講座
- ・語彙力をつけてアウトプットし、コミュカを高めていく手法を、本で使われた言い回しなどを利用して形成し、身につけるような講座など、本が出来る事で本が必要とされる好循環の構築として下さい。
- ・市外住民も参加できるようになると(講座等)うれしい
- ・イベントも、幼稚園児は参加できないものばかりで全く行きません

【アクセス…14 件】

- ・鎌倉市内の図書館を循環する無料バスがあると嬉しい。深沢に中央図書館ができて、自宅からは遠くなるので、足は遠のかと思うが、綺麗になった図書館には行けるようにしたい。公共交通機関を使うとお金がかかり無料で図書館を利用する意味がないから。
- ・旧鎌倉エリアからのアクセスが不安。現在の中央図書館がどうなるか不安。
- ・車、公共交通機関で簡単に利用したい
- ・新図書館ができると遠くなるので残念です
- ・図書館は、近くにあってほしい。移動図書館のように出向かなくても利用できると良い。

【電子化…12 件】

- ・最先端のデジタル化技術を駆使した図書館。
- ・電子書籍の導入
- ・廃棄せずデジタルアーカイブを促進して欲しい。
- ・郷土史の資料について、電子化を進めて欲しい。

【バリアフリー…8 件】

- ・子どもが発達障害があるので周囲に迷惑をかけてしまう可能性もあり、利用できていない親が連れて行ってもよいようにしてほしい。発達障害のある子どもを対象として図書館(子ども向け)はない。どんな子どもも利用して、利用する親の思いを理解してもらえる場所が合ってほしい。
- ・思わぬ病にて外出不能(右半身マヒ)になりましたが、読書は有料でも利用する方法があれば…と。
- ・字の大きな本をもう少し増やしてほしいですけど。
- ・「読書バリアフリー法」について、今回のアンケートで初めて知りました。様々な立場の方が利用できて恩恵を受けられる事は、とても素晴らしいと思います。これからも多くの方が気軽に利用できる図書館であってほしいですし、これを機にまた図書館に足を運んでみたいとも思いました。
- ・身体が不自由な人でも利用できるよう、スロープなどのバリアフリー
- ・宅配サービス。自宅から図書館まで徒歩で行くしかない場所ですが脚が不自由でかなり大変なので個別でなくても決まった曜日や日にちで最寄りのスポットで受け取れるルート配送があると良い

【職員…5件】

- ・とにかく司書さんが正規雇用で安心して働いている図書館が良い図書館の土台だと思います。市は、即物的、表面的なことにとらわれず、鎌倉の図書館の歴史を踏まえた、全国に誇れるトップランナーとしての図書館であり続けてほしいです。
- ・(アンケート3-6 職員の対応について) 静かにのため、声がかきとりにくい
- ・少し威圧感を感じ子どもが怖がります。やさしい雰囲気の図書館が嬉しいです。

【その他…31件】

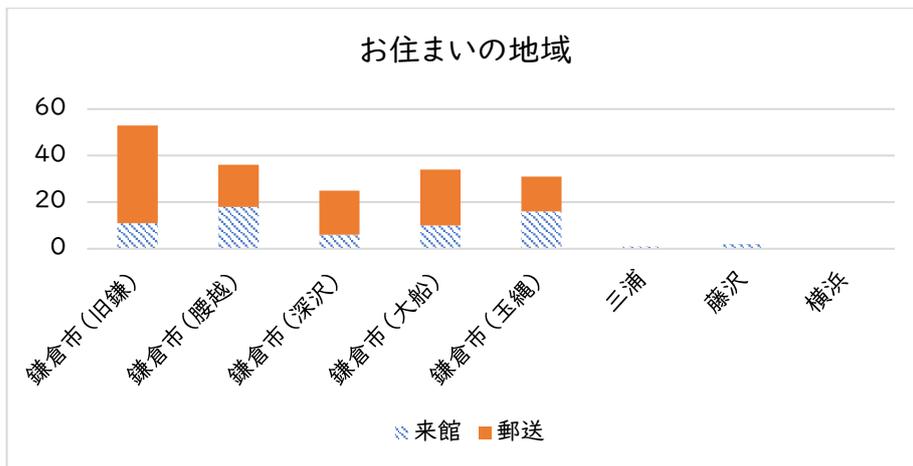
- ・映画「NY 公共図書館」を見ました。その中の言葉で「図書館は書庫ではない」の意味を考えさせられました。確かに「死蔵させては機能しない」と
- ・鎌倉のアノ図書館いいよねと言われる図書館がいい。他市のイトコどり…
- ・今のこの場所のこのままの図書館であってほしい。鎌倉らしい今の図書館を失くさないで。
- ・若い人の希望をかなえる図書館であるといいなと思います。老人は現状でも十分ありがたいです。
- ・図書館を楽しむ多目的広場的な施設にするのではなく、ヨーロッパの歴史ある図書館のように、落ちついて質の高い本を静かに選び読み調べたり学習できる、品のある知的で落ちついた場としてほしい。ネットで多くのことは調べられる世の中になっているが、ネットでは調べられない、本でなければ調べられないことも非常に多い。実際、鎌倉には多くの文化人が住んでいる。流行の本を揃えたブックオフのような図書館や、子ども向けの施設にするのではなく、図書館でなければ出会えない良質の本、絶版となった本やノーベル文学賞を受けた本などに会える大人を対象とした文化的に質の高い知的な図書館を作って頂きたい。
- ・本や図書資料を管理・貸出に特化し、その他の施設・サービス等は民間に有料で委託すべきである
- ・図書館本来の役目を充実させてほしい。図書の充実、HPでの予約のしやすさなど。市民(子ども達)が本に親しむ場として、全国の手本となってほしい。ワークスペースや飲食の場は治安やトラブル発生のリスクがあり不要と考えます。
- ・民間委託による管理運営への切り替えはやめていただきたい。営利追求によるサービスの低下、図書館員の雇用環境の悪化、市が特定の企業に依存せざるを得ない状況継続しノウハウや理念が失われてしまうことが懸念されます。また将来情勢変化によりどの企業も手を上げない事態になった場合、図書館を継続することが困難になる懸念もあります。
- ・様々うつりかわる興味関心に常にこたえていただき、いつも感謝しています。普段借りて帰る、返しに行くばかりですが、新図書館もたのしみです。

【参考施設】

Micca、TSUTAYA、石川県立図書館、海老名市立図書館、大和市シリウス、逗子市図書館、せんとぴゅあ、豊島区中央図書館、富山県立図書館、藤沢市子ども図書館、那須塩原市図書館、みるる、目黒区立図書館、足立区立図書館、ゆいの森あらかわ、小諸市立図書館、武雄市図書館、八尾市立図書館、洲本市立図書館、中之島図書館、金沢海みらい図書館、太田市立図書館

お住まいの地域

	鎌倉市 (旧鎌)	鎌倉市 (腰越)	鎌倉市 (深沢)	鎌倉市 (大船)	鎌倉市 (玉縄)	三浦	藤沢	横浜
来館	11	18	6	10	16	1	2	0
郵送	42	18	19	24	15			
合計	53	36	25	34	31	1	2	0



【アンケート調査結果から】

この度の第 5 次鎌倉市図書館サービス計画は、鎌倉市読書バリアフリー計画も兼ねるため、読書バリアフリーについての設問を設けました。

読書バリアフリー法については 6 割の方が全く知らないと答えています。聞いたことがあるだけで中身は知らない方を含めると 9 割近い方がまだ知らないことがわかります。利用してみたいバリアフリーサービス内容では、電子書籍、音声図書、大活字本と続き、これも広く知られているあるいは利用したことがあると思われるサービスが上位に来ており、読書バリアフリーサービス全体がまだ周知が進んでいないことがわかります。

新しい図書館でやってみたいことの自由記述で目立ったのは、設備・施設についての意見でした。子どもが騒いだり大人おしゃべりしたりしてもいいスペースが欲しいという声と、静かに落ち着いて過ごすスペース、自習スペースが欲しいという声と同じくらいありました。現時点の図書館ではどちらの利用者も満足していないことがわかり、様々な機能・用途に合わせてフロアを分けるゾーニングを提案する声が多くありました。これについては図書館の考えと合致しています。次に多いのは、カフェ・飲食スペースが欲しいという声です。また、設備面では良い椅子を要望する声が多く、ゆっくり座りたいというシンプルな希望すら現状ではかなえられていないことがわかります。アクセスに関する声も寄せられ、読書バリアフリーサービスのひとつとして、アウトリーチサービスの充実も必要であることがうかがえます。

サービス面については、満足度アンケートでは比較的満足度が高かったはずの開館日・開館時間についての声が多くありました。20 時、21 時までの開館時間の延長、又は月曜開館などです。開館日、開館時間について満足していない利用者が実は一定層いることがわかります。また、蔵書についての要望も多く、図書館を利用しない理由としても挙げられました。満足度でも、2022 年に行った数値より微増しているものの、依然低い数値となっています。

図書館の場所や、既に実施しているサービスを知らない声もありました。図書館の存在やサービスを市民の方に知っていただくための広報が足りていないことが読み取れます。

他には多種多様なイベントのアイデアがたくさん寄せられました。新しい図書館の開館が予定されることで、今までとは違ったにぎやかな図書館像への期待が表れているのではないかと考えられます。

第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画 アクションプラン(案)

第5次計画の取組	担当(担い手)
----------	---------

1 豊かな読書環境の整備

1(1)子どもに関わる全ての施設において、子どもにとって魅力ある蔵書を構築

1 市図書館の蔵書内容の充実。子ども向け地域資料の充実	中央図書館
2 学校図書館の収集方針や選定方針を学校間で共有し、蔵書内容を充実させる	教育指導課、小学校、中学校
3 子どもに関わる施設の蔵書の充実	中央図書館、子どもに関わる施設
4 子どもにとって魅力のある蔵書構築についての学びの場を創出	中央図書館、子どもに関わる施設

1(2)子どもと本や情報をつなぐ人を適正に配置

1 図書館司書の専門性の向上と継承	中央図書館
2 おはなしボランティア養成講座や、ステップアップ講座を開催し、ボランティアのスキルアップの場を設ける	中央図書館
3 キャラクター「かますけ」を活用し、フロアワークやレファレンスを行い、尋ねやすい雰囲気づくりと、かまくら読書活動推進センターの存在をアピールする	中央図書館

1(3)乳幼児期から本に親しむ機会を提供(ブックスタートやおはなし会など)

1 対象年齢にあわせた特性の研究	中央図書館
2 関連課と連携して、ブックスタート事業の実施	中央図書館、こどもみらい課、こども家庭相談課
3 こどもの年齢別おはなし会(定例)の実施	中央図書館
4 こどもの対象年齢に応じた、読書や図書館に親しむ特別な行事の実施	中央図書館
5 ヤングアダルト対象の行事の実施	中央図書館

6 各施設による読み聞かせなどの実施	こどもに関わる施設
--------------------	-----------

1(4)こどもの読書にかかわる情報の収集と発信

1 かまくら読書活動推進センターでこどもの読書に関わる情報を収集し、互いに蔵書内容・イベント・事業などの参考にする	中央図書館、こどもに関わる施設
2 図書館のサービス内容をもっとアピールする工夫	中央図書館
3 「どくしょのノート」(読んだ本を記入していく冊子)のホームページ掲載・配付	中央図書館
4 おすすめの本のリストの配付	中央図書館

1(5)こどもと本や情報をつなぐ人と連携して、豊かな読書環境の整備を行う

1 「鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議」の委員を通して、こどもに関わる施設との連携を深める	中央図書館
---	-------

2 読書バリアフリーの推進

2(1)誰もが本を読めるようにする読書バリアフリーを広く知るための取組を実施

1 読書バリアフリーの考え方を広く知り、広く伝えるための取組を実施	中央図書館
2 バリアフリーおはなし会(手話付きおはなし会、世界のおはなし会など)を継続して開催する	中央図書館
3 「バリアフリー図書パック」を作成し、学校等へ貸出する	中央図書館、教育指導課、小学校、中学校
4 バリアフリー資料を活用した展示や行事の実施	中央図書館、小学校、中学校
5 図書館を利用しづらいこどもたちや、こどもたちが関わる施設へのニーズ調査	中央図書館
6 入院中のこどもたちを含む医療ケア児等へのサービスの研究	中央図書館

2(2)海外にルーツのある子どもたちへサービスを提供

1 多言語絵本の充実	中央図書館
2 ブックスタートでの多言語絵本の配付	中央図書館、こどもみらい課、こども家庭相談課
3 支援団体と連携し、ニーズの把握に務め、サービスを検討	中央図書館

2(3) 読書バリアフリー資料の充実、電子書籍の導入を検討

1 読書バリアフリー資料の充実	中央図書館
2 電子書籍の導入を検討	中央図書館

3 情報活用スキルの向上とメディアリテラシーの醸成

3(1) こどもたちが紙とデジタル資料を使って、学習ができるようサポート

1 学校図書館の活用、カリキュラムの研究・実践により、情報を活用するスキルの向上を目指す	中央図書館、教育指導課、小学校、中学校
2 メディアリテラシーの醸成を踏まえて、様々な媒体の使い方や、利用方法を伝える	中央図書館、教育指導課、小学校、中学校

3(2) こどもの居場所となる施設のWi-Fi環境を整備

1 こどもの情報を知る権利を格差なく保証するために、Wi-Fi環境の整備をおこなっていく	中央図書館、こどもに関わる施設
--	-----------------

3(3) こどもに関わる大人を対象とした情報活用学習のための研修を実施

1 メディアリテラシー研修など、情報活用学習のための研修を実施する	中央図書館、教育指導課、小学校、中学校
-----------------------------------	---------------------

4 こどもに関わる施設や団体と連携した読書活動支援

4(1) ビブリオバトルなど中高生が読書に関する情報を自ら発信する場づくりを実施

1 こどもたちが、ビブリオバトルや、職場体験などを通して、自ら発信できる場の充実を図る	中央図書館、中学校、高等学校
---	----------------

4(2)より利用しやすい学校図書館を整備(開館時間の拡大や展示の工夫など)

1 学校図書館で、こどもが本を手に取りやすいように本のフェイスアウト等見せ方を工夫し、本や図書館に興味をもてるようにする	小学校、中学校
2 学校図書館を放課後にも利用できるように開館時間を検討する	教育指導課、小学校、中学校

4(3)こどもに関わる施設や団体との交流を通して、読書環境を充実

1 「本の海サポーターズ交流会」など、おはなしボランティアや保護者・保護者の団体との情報交換の場を設ける	中央図書館
2 乳幼児のニーズの把握につとめ、こどもたちへの図書館利用を促す取り組みを行う	中央図書館、幼稚園、保育園、認定こども園、子育て支援センター
3 市図書館が学校(小中高)図書館への訪問を通し、情報交換や交流をはかる	中央図書館、小学校、中学校、高等学校
4 市図書館と放課後かまくらっ子や、フリースクールなどの施設との連携	中央図書館、青少年課、放課後かまくらっ子、こどもに関わる施設
5 本の選書のサポートを兼ねた学校貸出(搬送先は学校以外の施設も含む)の継続実施	中央図書館、教育指導課、小学校、中学校、こどもに関わる施設
6 図書館見学・職場体験などを通して、こどもたちが図書館に親しむ機会を提供	中央図書館、こどもに関わる施設
7 地域の宝物を生かし、鎌倉を楽しむを取組を実施。地元著者・出版社・書店との連携もすすめる。	中央図書館

4(4)図書館を利用しづらい子どもたちのニーズに合わせたサービス検討(出張おはなし会や図書館見学など)

1 特別支援学校や障害児施設へサービスを検討し、訪問サービス(出張おはなし会)や図書館見学を実施	中央図書館、こどもに関わる施設
--	-----------------

5 こどもの居場所としての図書館の整備・サービスの検討

5(1)ゾーニング(図書館内の動線や区分けなどレイアウトの工夫)についての研修を実施

1 ゾーニング(図書館内の動線の区分けなどレイアウトの工夫)についての研修を実施	中央図書館
--	-------

2 利用しやすい図書館、にぎやかな図書館について検討する	中央図書館
------------------------------	-------

5(2)こどもの居場所の在り方の検討

1 こどもたちの居場所としてこどもたちが何の目的もなく来館し、自由に本を選び、くつろげる空間とサービスを継続して提供するとともに、さらなる充実を検討する	中央図書館
--	-------

5(3)こどもたちのニーズの反映

1 こどもたちが主体的に図書館に関わるための受け皿を研究し、ニーズの反映につなげる	中央図書館
---	-------

※担当(担い手)として、「こどもに関わる施設」として、記載のあるものは施設を統括する保育課、教育指導課、青少年課、こどもみらい課、発達支援室を含む。

令和7年（2025年） 鎌倉市中央図書館視察先一覧

所在自治体	長野県塩尻市		東京都荒川区	大阪府茨木市	大阪府守口市	藤沢市	宮城県富谷市	鎌倉市
人口	6.5万人		22.5万人	28.7万人	14万人	44.3万人	5.1万人	17万人
面積	289.98km ²		10.16km ²	76.49km ²	12.71km ²	69.5km ²	49.93km ²	39.66km ²
施設名	えんぱーく	えんてらす	ゆいの森あらかわ	おにクル	守口市立図書館	村岡公民館	ユートミヤ	中央図書館
完成(開業)	2010年	2019年7月	2017年3月	2023年11月	2020年6月	2025年10月	2026年春予定	1974年10月
視察日	2月6日		4月8日	10月2日		10月20日	10月29日	
視察者	山本・水野・島田・村越		渡邊・水野・山本・島田・市街地整備課(7名)	渡邊・島田・市街地整備課(4名)		渡邊・山本	中野・水野	
施設概要	地下1階地上5階建	地上2階建 木造一部鉄骨造	地下1階地上5階建	地上7階建	地下1階地上5階建	地上3階建	地上2階建	地下1階地上3階建
	中央図書館、子育て支援センター、商工会議所、市役所分室、民間オフィス	図書館(分館)、市役所支所、公民館、子育て支援センター	中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば	市民活動センター、プラネタリウム、図書館、ホール(大ホール、多目的ホール)、こども支援センター、屋内こども広場	図書館・生涯学習施設	市民センター(市役所窓口)、地域包括支援センター、ボランティアセンター、市民図書室	図書館、スイーツテーション、児童屋内遊戯施設	単独施設
延床面積	約12,000m ²	約2,170m ²	10,994m ²	19,715m ²	8,689m ²	4,072m ²	3,231m ²	2,576m ²
図書館面積	3,285m ²	288m ²		2,371m ²				
特徴			・施設の融合を目指しているため、境界をあいまいにしている。	・こども支援センターとこども広場が併設されているため、こども連れの来館者が多い。 ・館内ほぼ全館が図書館として本が置いてある。	・大阪府内で最後の図書館法による市立図書館 ・従来の公民館(図書室)の建物をリニューアルして利用 ・旧プラネタリウム室も「円形ホール」としてそのまま活用			

茨木市 おにクル



全景



児童コーナーのテラス



共用スペースの書架と閲覧席



図書館スペース全景

守口市立図書館



入口

館内案内表示

閲覧席



藤沢市 村岡公民館



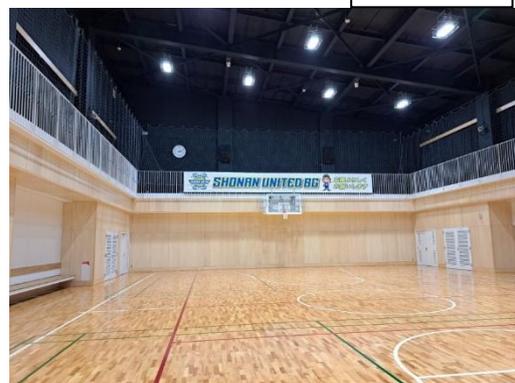
一般書架

児童閲覧席



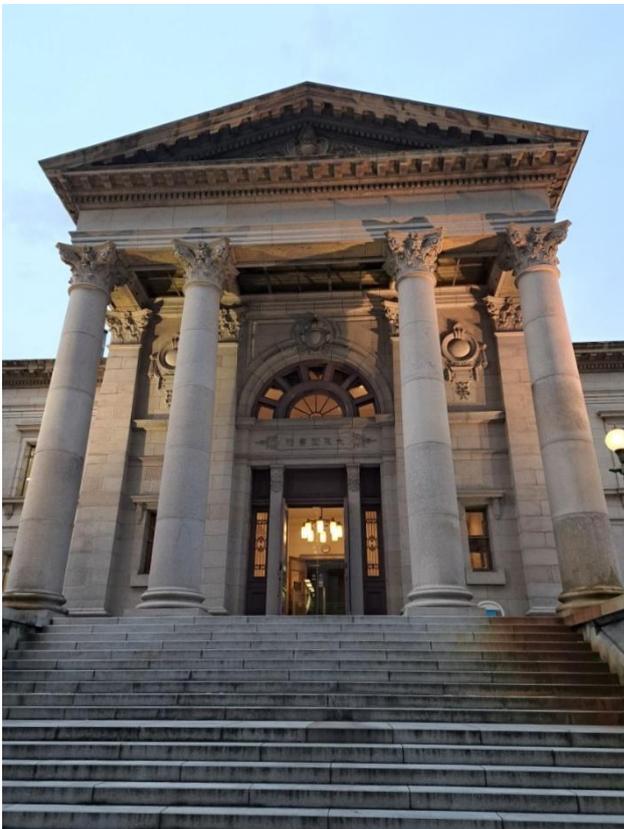
おはなしコーナー

体育室



市民センター窓口

こども本の森 中之島



大阪府立中之島図書館

令和7年11月18日
鎌倉市図書館協議会資料

宮城県富谷市図書館工事見学（記録）

鎌倉市深沢図書館 中野

1 見学年日時場所・対応見学担当者

(1) 見学年月日時場所

令和7年10月29日（水）10時～。宮城県富谷市成田1丁目1-1

(2) 対応見学担当者

富谷市図書館等複合施設開館準室長 新出氏

2 宮城県富谷市の図書館整備事業概要

富谷市では、2016年の単自治体による市制移行後、次世代型図書館づくりに向けた市民ワークショップを経て、2017年度に成田地区への整備基本構想、2019年3月に整備基本計画が策定された。

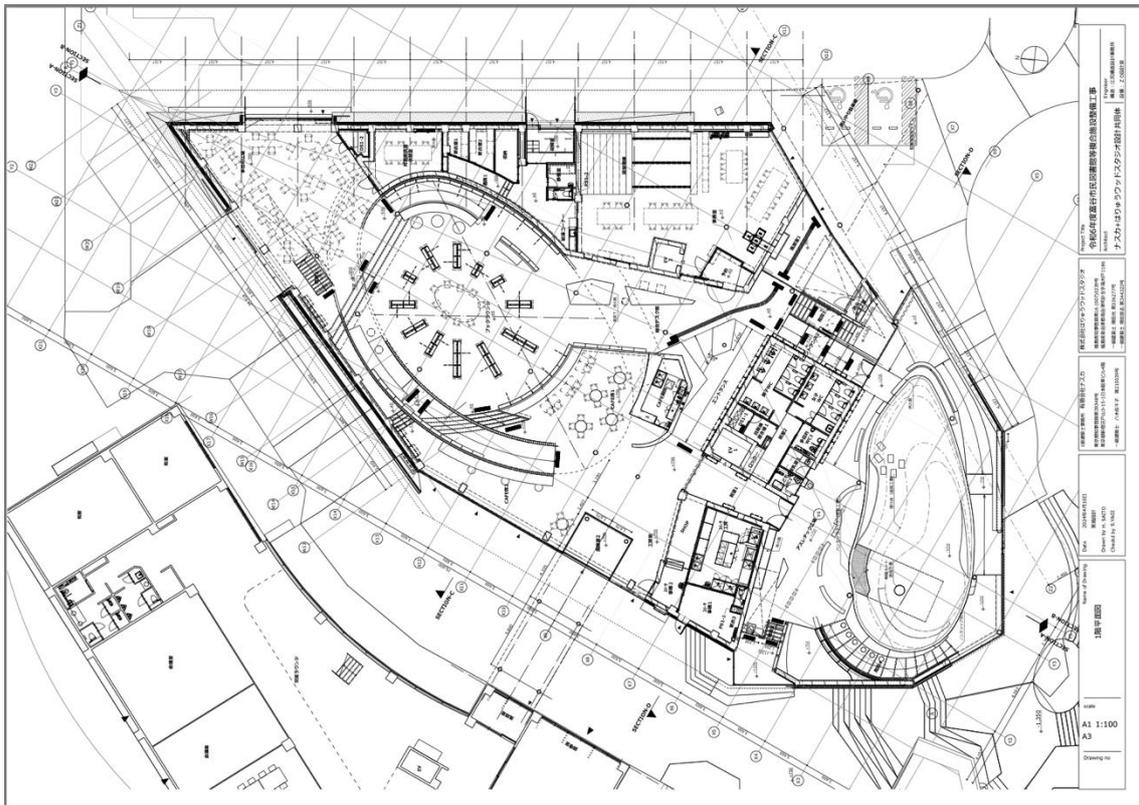
2020年度から複合施設として検討。市民要望や新たな事業追加により、2021年6月には「図書館」、「スイーツステーション」、「児童屋内遊戯施設」を融合した複合施設として整備する方針が決定。2024年度には公募愛称が「ユートミヤ」に決定。

2026年春の完成が予定されている。富谷市の図書館整備の経緯については、tomiya-city.miyagi.jpで詳細を確認できる。

3 特記事項

- ・市概要：人口51,428人（2025年10月1日）、面積49.93k㎡。
- ・これまで市内6つの公民館図書室があるのみで図書館法及び図書館設置条例に基づく図書館が整備されていなかった。
- ・市近郊の宮城県図書館における富谷市民の貸出冊数は、平成29年（2017年）には全体の12.8%。この数値は仙台市泉区、青葉区に次ぐ高い水準。
- ・建設地に現在開館している成田公民館内には図書室、公民館、プレイルームがある。
- ・複合施設新築に伴い、現公民館も一体として改築される。
- ・ジェンダーレストイレの設置、多目的空間（お話し会等イベント時にも活用）、2個所の静読室の設置（新築複合図書館内と今までの公民館空間内）、メーカースペース設置、友の会公募、市民と協働した運営を目指している点（パートナーズミーティング等）、透明性（公開基本設計プロポーザル実施、実施設計からの変更点のWEB公開）等に特徴がある。

1F



2F

